

な事業と決算状況

問 財政課 ☎ 21-1243

さいにゅう 歳入 市に入ってきた お金の総額		505 億	180 万円 (1.3% ↓)	[431,577 円]	《一般会計》
市 税 皆さんからお預かりした税金 	国・県支出金 使い方が定められている国・県からの負担金・補助金・委託金	137 億 9,264 万円 (0.9% ↓) [117,869 円]	153 億 6,049 万円 (3.5% ↓) [131,267 円]	87 億 3,099 万円 (2.1% ↓) [74,613 円]	37 億 7,673 万円 (2.5% ↑) [32,275 円]
譲与税・交付金 使い方が定められていない国・県からの各種譲与税・交付金など	使用料・手数料 分担金・負担金 保育料・ごみ処理手数料など皆さんに負担していただいた収入	28 億 1,492 万円 (1.3% ↑) [24,056 円]	13 億 7,210 万円 (2.6% ↓) [11,726 円]	15 億 896 万円 (33.1% ↓) [12,895 円]	31 億 4,497 万円 (37.7% ↑) [26,876 円]
	地方交付税 普通地方交付税 特別地方交付税				市 債 建設事業など のための 借金
	繰入金 基金（貯金） の取り崩し など				その他 寄附金・財産売払収入・ 繰越金・競争事業収入 など

さいしゅつ 歳出 市が使った お金の総額		497 億 5,838 万円 (0.1% ↓)	[425,223 円]	《一般会計》
民生費 社会保障、子育て支援、高齢者・障がい者福祉など	議会費・総務費 市議会・市役所の運営など	教育費 幼稚園・小・中学校教育、社会教育、スポーツ振興など	土木費・災害復旧費 道路、街路、公園整備、海岸整備、災害復旧など	公債費 市債（借金）の返済
衛生費 健康増進、ごみ処理、環境保全など	商工費・観光費 商工・温泉・観光振興など	消防費 消防や防災対策など	労働費・農林水産業費 消費者・勤労者対策、農林水産業振興など	
253 億 3,007 万円 (0.4% ↑) [216,465 円]	67 億 7,951 万円 (13.9% ↑) [57,936 円]	34 億 154 万円 (4.3% ↓) [29,069 円]	32 億 9,055 万円 (3.2% ↓) [28,120 円]	33 億 1,668 万円 (5.8% ↓) [28,344 円]
45 億 3,143 万円 (1.9% ↑) [38,724 円]	15 億 208 万円 (0.002% ↓) [12,836 円]	12 億 3,040 万円 (2.4% ↑) [10,515 円]	3 億 7,612 万円 (14.1% ↑) [3,214 円]	

年度末の 財政状況	●歳入歳出差引額 7 億 4,342 万円 (43.6% ↓) 平成 31 年度へ繰り越しました。
	●基金（貯金）の残高 117 億 1,761 万円 (0.9% ↑) [100,136 円]
	●市債（借金）の残高 348 億 931 万円 (2.0% ↑) [297,472 円]

() 内は対前年度比、【 】内は、平成 31 年 3 月 31 日現在の別府市の住民基本台帳の人口 (117,017 人) で割った金額です。

主な事業

平成 **30** 年度

別府市の主

学生大同窓会開催事業 2,000 万円

平成 31 年 3 月 23 日にビーコンプラザで「国際シンポジウム ONE BEPPU DREAM AWARD 2019」、「べっぶカレッジアンボリー」を開催しました。夜は豊泉荘で、3 大学の学園祭や「クリスマスファンタジア」、「湯ぶっかけ祭り」などのお祭りが大集結する「同窓会ホテル」を開催しました。



世界温泉地サミット開催事業 2,020 万円

平成 30 年 5 月 25 日～27 日、ビーコンプラザで「世界温泉地サミット」が開催されました。国内外の温泉地のリーダーや研究者などが参加し、講演、事例発表、「医療・健康・美容」などの分科会による議論が行われ、最後に世界温泉地サミット宣言が採択されました。



汚泥再生処理センター建設事業 15 億 521 万円

平成 28 年度から行っていた、し尿処理場春木苑の更新工事が完了しました。平成 31 年 4 月から「別府市リバーサイドオアシス春木苑」として運転を開始しました。



N Y 支店開設事業 699 万円

9 月 14 日～25 日の 12 日間、ニューヨークで竹細工の展示会・テスト販売、実演、ワークショップなどのプロモーションを行いました。



野口原陸上競技場トラック改修事業 1 億 6,416 万円

昨年度の幅跳び走路改修工事に続き、トラック走路の改修工事を行いました。これにより、競技力向上につながる施設となりました。



梅園温泉再建支援事業 700 万円

平成 28 年 4 月の熊本地震で被災し、取り壊しになった梅園温泉が平成 30 年 12 月にリニューアルオープンしました。



防災用サイレンスピーカー整備事業 5,895 万円

津波被害を軽減するため、沿岸部に屋外拡声施設を 7 基増設し、計 10 基にしました。音達範囲の拡大で、より多くの人に情報伝達が可能になりました。



避難所基盤整備事業 2,679 万円

避難所の衛生環境を向上させるため、春木川小学校、石垣小学校、上人小学校の 3 か所にマンホールトイレを整備しました。



中学校統合事業 1 億 7,025 万円

浜脇中学校と山の手中学校の統合校建設に向けて、旧西小学校校舎の解体工事などを行いました。

亀陽泉周辺整備事業 1 億 4,694 万円

亀川地区都市再生整備計画に基づき、亀陽泉前の道路拡幅を行いました。

生活保護費	69 億 923 万円
自立支援給付費	37 億 8,103 万円
保育園（私立）運営費負担金	30 億 439 万円
介護保険事業特別会計繰出金	17 億 4,688 万円
後期高齢者医療療養給付費負担金	16 億 5,633 万円
児童手当	15 億 7,221 万円
児童扶養手当	6 億 7,115 万円
国民健康保険事業特別会計繰出金	5 億 9,490 万円

※金額などは、表示している単位未満を四捨五入しています。

平成30年度

一般会計・特別会計の決算、税の使いみち、比較分析

金額などは表示している単位未満を四捨五入しています。

別府市ホームページにも詳細を掲載しています。トップページから「市政」→「財政」

☎ 財政課 ☎ 21-1243

平成30年度の
一般会計と特別会計
の決算額

会計名	歳入	歳出	差引額	
一般会計	505億 180万円	497億 5,838万円	7億 4,342万円	
特別会計	516億 2,243万円	507億 8,115万円	8億 4,128万円	
内訳	国民健康保険事業	150億 6,346万円	146億 9,232万円	3億 7,114万円
	競輪事業	198億 7,473万円	196億 1,457万円	2億 6,016万円
	公共用地先行取得事業	0円	0円	0円
	公共下水道事業	23億 8,169万円	22億 6,931万円	1億 1,238万円
	地方卸売市場事業	3,586万円	3,586万円	0円
	介護保険事業	126億 5,533万円	125億 6,535万円	8,998万円
	後期高齢者医療	16億 1,136万円	16億 374万円	762万円
合計	1,021億 2,423万円	1,005億 3,953万円	15億 8,470万円	

平成30年度
充当明細表
(税などの使いみち)

都市計画税充当明細

充当先	金額
1 土木費	649,527千円
街路事業	70,525千円
都市公園整備事業	64,700千円
公共下水道事業 特別会計繰出金	244,571千円
その他都市計画事業	254,279千円
水道事業	15,452千円
2 公債費	380,503千円
長期債償還元金	350,004千円
長期債償還利子	30,499千円
合計	1,030,030千円

入湯税充当明細

充当先	金額
1 衛生費	4,018千円
じんかい処理費	3,725千円
し尿処理費	293千円
2 観光費	278,274千円
観光客誘致事業	205,614千円
観光施設費	24,026千円
温泉施設費	48,634千円
3 消防費	38,348千円
消防施設費	38,348千円
合計	320,640千円

競輪事業収入充当明細

充当先	金額
1 民生費	16,000千円
在宅支援事業	16,000千円
2 衛生費	200,000千円
予防費	200,000千円
3 教育費	84,000千円
文化振興費	70,000千円
体育施設費	14,000千円
合計	300,000千円

地方消費税交付金
(社会保障財源分) 充当明細

充当先	金額
1 民生費	705,064千円
自立支援給付事業	251,000千円
共生社会形成事業	50千円
介護保険事業 特別会計繰出金	70,000千円
後期高齢者医療事業	70,000千円
保育所入所事業	314,014千円
2 衛生費	240,000千円
予防接種事業	90,000千円
子ども医療助成事業	50,000千円
母子健康診査事業	50,000千円
健康診査事業	50,000千円
合計	945,064千円

	平成29年度比	平成30年度比	早期健全化基準(黄信号)	財政再生基準(赤信号)	用語の説明	
健全化判断比率	実質赤字比率	赤字額なし	赤字額なし	12.08%	20.00%	標準財政規模(※1)に対する一般会計等の赤字額の割合を表す比率
	連結実質赤字比率	赤字額なし	赤字額なし	17.08%	30.00%	標準財政規模(※1)に対する全会計の赤字額の割合を表す比率
	実質公債費比率	2.7%	3.1%	25.00%	35.00%	標準財政規模(※1)に対する地方債償還など財政負担額の割合を表す比率
	将来負担比率	比率なし(※2)	比率なし(※2)	350.00%		標準財政規模(※1)に対する一般会計等が将来的に負担すべき負債の割合を表す比率

※1 標準財政規模については、下の説明をご覧ください。

※2 将来負担すべき負債が充当できる財源を下回り、数値が負となるため比率なし。

	平成29年度比	平成30年度比	早期健全化基準(黄信号)	用語の説明
資金不足比率 (全公営企業会計※3)	資金不足額なし	資金不足額なし	20.00%	公営企業の資金不足額が事業規模に対しどの程度あるかを示す比率

※3 公営企業会計は、水道事業会計、公共下水道事業特別会計、地方卸売市場事業特別会計です。

- 類似団体とは、人口規模や産業構造が同じような状況にある自治体のことで、平成29年度の別府市の類似団体は49団体あります。
- 類似団体の財政状況を比較した資料は毎年3月に総務省が公表します。平成30年度の数値が公表前ですので今回は平成29年度の決算数値で比較しています。
- 比較は地方財政統計上統一的に使われる「普通会計」という会計区分で行っています。そのため、数値は市報31年2月号で報告した数値(一般会計ベース)と異なります。

人口一人当たりで比較すると…

(単位：円)

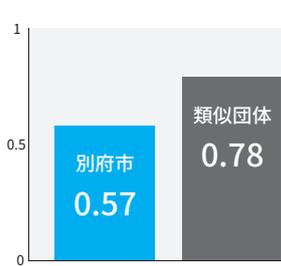
区分	①別府市	②類似団体	①-②
歳入	430,549	390,702	+ 39,847
歳出	419,449	379,520	+ 39,929
積立金現在高(※I)	97,747	83,686	+ 14,061
地方債現在高(※II)	287,299	320,411	- 33,112

※I 特定の目的のためなどに積み立てたお金の現在高です。

※II 地方債(借金)の現在高です。

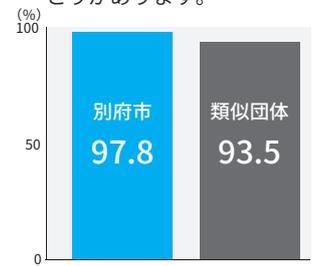
ざいせいりよくしうすう 財政力指数

財政基盤の強さを見るための指標で、数字が大きいほど財政力が強いと言えます。この数字が「1」を超える地方公共団体には普通地方交付税は交付されません。



けいじょうしゅうしゅうしひりつ 経常収支比率

使用方を制限されていない市税や普通地方交付税など経常的な収入に対する人件費・扶助費・公債費(借金の返済)など経常的な支出の割合です。この数値が低いほど財政にゆとりがあります。



じっしつこうさいひりつ 実質公債費比率

支出全体の中で借金の返済に使った金額を右記の「標準財政規模」で割ったものです。この数値が高いほど財政が硬直化していることになります。(3年平均)



ひょうじゆんざいせいきほ 標準財政規模

地方公共団体が自由に使える標準的な一般財源の大きさを示すものです。



別府市の財政状況を家計に例えてみると・・・

他市と比べて、貯金が多く(人口一人当たり14,061円多い)、借金が少ない(人口一人当たり33,112円少ない)状況です。家計状況が健全な時に、将来のリスクに備えることが大切です。

